

SMC金融・経済マーケットレポート

Reporter Your Financial Brain SMC 豊島 健治

中間決算の裏側で

(変わらぬ意識・懲りない行動)

株価水準が気になる9月末が過ぎた。特に今9月は時価会計が導入されて初めての銀行中間決算となるので余計注目されていた。結果は、同時多発テロの影響もあって散々なものだった。銀行保有株式に巨額の評価損が発生した。それを受けて大手銀行は中間決算の大幅下方修正を余儀なくされた。会見の場に臨んだ銀行首脳は、かつては優良資産だった株式までもが不良資産になってしまった現実に苦悩の表情を浮かべるしかなかった(ように見えた)。

1年前と半年前の株価と比較。

	日経 225	TOPIX	時価総額
2000/09 末	15,747	1,470.7	412
2001/03 末	12,999	1,277.2	351
2001/09 末	9,774	1,023.4	294
昨年比	37.9%	30.4%	118

(時価総額は東証一部で金額単位は兆円)

しかし、彼らは無残に下落した株式を前にただ茫然としていた訳でなく、幾つかの対応策をとっていた。その一つが、もう止めたと思われていた益出しクロスと呼ばれる行為である。

もう時効であるし、何処でもやっていたことだから云うが、私もかつてサラリーマン時代 益出しクロス に携わった。この行為は、例えば「簿価10億円、時価20億円の株式」を保有していて、含み益10億円を実現益10億円に変えたいという場合使う。やり方は単純で、保有株を一旦証券会社に売却し、追い掛けてその株式を買い戻すのである(同じ株式が銀行と証券の間を往復するからクロスと呼ぶ)。そうすることによって、

含み益が有価証券売却益として実現化する、保有株は買い戻して元のまま(取引相手に迷惑をかけない)、となる。何だか良いことづくめのようだが、これが問題なのだ。私も携わっていて空しい思いを味わった。

何処が問題で何が空しいかというと、利益と云ってもキャッシュは生まない(売却代金は買い戻しに使ってしまう)、帳簿価格(簿価)10億円が20億円に跳ね上がり資産効率が低下する、簿価上昇により株価が下がると一転含み損に陥るリスクが増大する、手数料と税金が出て

行く、等が指摘できる。つまり利益が出た出たと喜んでお金も減ってしまうのだ。こんな取引はおかしいということで、2年前だったかクロス取引による利益は会計上利益に認められないことになった。しかし、規則の網をかいくぐって未だ懲りずに持合い株式を使って 益出しクロス をやっている銀行もあるようだ。

この 益出しクロス は、実はバブル崩壊以降毎年習慣のようにやってきた歴史があり、累積で巨額の(表面)利益を銀行にもたらした。この空しい行為を繰り返した結果が今日の巨額含み損という現実を目をそらして、未だにクロス取引をやっているという事実には呆れるしかない。

9月、8月まで持合い解消とやらで一貫して株式を売り越していた銀行が一転大幅な買い越しに転じた。そして地方市場での出来高が急増した。おそらくクロス取引に認定されないよう工夫して密かに益出しを行ったものだろう。

又、今回の中間決算から導入となった時価会計への対応策として妙な行動に出た。強制評価減(株価が50%以上下落した株式は強制的に時価に評価替する)を避けるために、株価が大幅に下落した持合い企業の株式を買い増す行動に出た銀行もあるというのだ。所謂ナンピン買いという奴であるが、下落幅の大きい保有株を買い増せば簿価は時価に近づき強制評価減の対象から外れる。しかし目先の損失回避は単なる問題先送りに過ぎない。近い将来、買い増した保有株が新たな刃となって自らに振り下ろされる可能性は大きい。そんな儂い行動に高給取りが本気で取組んでいる姿はどうみても尋常ではない。

貸出には不良債権がとぐるを巻き、後生大事に持っていた持合い株には大きな含み損が発生する。この上長期金利が上昇でもしたら保有債券に大きな穴があき、正ににっちもさっちも行かなくなる。厳しい状況に同情は禁じえないが、銀行経営への包囲網は確実に狭まっている。

首相までもが銀行首脳にケチをつけ始めた。金融庁も微妙に方向を変えつつある。現在の状況をつぶさに見れば、銀行行動の根底にある「何とかなるだろう」、あるいは「何とかしてくれるだろう」という行動規範では乗越えられない段階まで来ていると思わざるを得ない。誰も「何とかしてくれない」秋が到来し、金融マン達は今何を想っているのだろうか。

Weekly Fax Report

2001.10.6(第278号)

《複製・転載等はこちらまでご連絡下さい》

TEL. 0438-53-6092 FAX. 0438-53-6096

URL: http://www.hi-ho.ne.jp/smc_toyo/

Email: smc_toyo@hi-ho.ne.jp